

公表日 令和6年 12月 1日

事業所名 こぼんはうすさくら 花野路教室

保護者等数(児童数) 27名 回収数 25件(割合92.6%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1			玄関、教室、学習室を含め、全てのスペースが十分な広さだと感じます。	教室内には最低限の物が置かないようにしています。また教室内に大きな窓もあり解放感もあります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	5			11月から職員さんが増えるとお聞きしましたので安心しています。	主に保育士、児童指導員、専門職の職員が支援を行っています。配置基準よりも多く職員を配置できるよう掛けています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2			子ども用トイレ、玄関もとても広く感じます。	建物の構造上の問題もありますが、可能な限り児童の怪我や事故防止に配慮した環境作りを行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1				毎日の掃除を含め、季節の変わり目にはエアコンの掃除などの大掃除を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	3			その日の担当職員さんによります。	児童情報の共有は毎日の朝礼、終礼時の他、個別支援計画の作成時にケース会議を行うなど定期的に行っています。勤務の都合上、それらの会議に出席できない職員もいるため、小まめに情報共有を行っていきたくと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	2			毎日欠かさず集団プログラムを行っていただいているようです。	放課後などの短い時間でも来所した全ての児童が集団プログラムに参加できるようプログラム内容を工夫しています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1			アセスメントから前回の個別支援計画の振り返りなどでも丁寧に聞き取りを行い、作成してくれれます。	個別支援計画更新時に、必ず保護者様と面談を行って作成するようにしています。また他利用施設や学校、保育園なども連携を行い、個別の課題を考えています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1				他施設、ご家庭と連携を行い、統一した支援が行えるように取り組んでいます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2			毎日連絡帳で個別支援計画の振り返りをしていただいています	支援にあたる全職員に個別支援計画を共有し、統一した支援が行えるよう取り組んでいます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	4			毎月「お楽しみ」のプログラムがあり、毎回どんな活動があるのか楽しみにしています。	季節のイベントや、課外活動など子どもたちが楽しめるような活動内容も積極的に取り入れています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	10	2		ないと思います	コロナウイルスの流行を理由に実施できていませんでしたが、少しずつ交流を増やしていこうと思います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					契約時に必ず説明を行うようにしています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					個別新計画完成時には、必ず対面にて説明を行い、保護者様に同意を頂いています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	9	4			コロナウイルスの流行を理由に実施できていませんでしたが、近々実施を検討しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	1	1		送迎時にその日の様子を細かく話しくれます。	送迎時に日々の様子を伝えあうようにしていますが、必要に応じて電話対応や面談を行っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	5	1		相談した際は親身になってお話を聞いてくださります。	保護者様から希望があった際は随時面談の時間を設けています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	15	5		されていない。	コロナウイルスの流行を理由に実施できていませんでしたが、近々実施を検討しています。

	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	6	1	管理者、児発管の先生が主に相談に乗ってくれます。利用日以外の日でも小さめに連絡を返してください。	連絡帳アプリの導入により、連絡に早く気付くことができるため迅速に対応できるよ心掛けています。
保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2		職員さんによる。	どのような情報も終礼時に必ず共有するようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	3	1	以前はよくブログを更新していたのですが最近では更新が少なく感じます。	ブログにて更新を行っていましたが、連絡帳アプリの導入により個別で活動内容の様子の写真を送っております。ブログの更新も定期的に行っていきたいと思っております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	2			契約時に個人情報の取扱いについての説明を行っております。また、個人情報の書類につきましては鍵付きのロッカーに保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	9		マニュアルの説明はありますが、訓練内容まではわかりません。	訓練内容も出来る限りお伝えできるように検討してまいります。アプリでの確認も検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	8		毎月活動で避難訓練をしてくれているようです	毎月、様々な避難発生を想定し活動を通して避難訓練を行っております。またその都度振り返りを行い、様々な避難訓練を提供できるよう努めています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	3			契約時に説明しています。内容の変更があれば保護者の方職員に周知しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	6			管理者を中心に、何かあった際はすぐに保護者様へ連絡できるようにしています。また、管理者が不在の際の連絡方法についても職員に共有しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25			来所を嫌がる事なく通って来ています。	利用者様に寄り添った支援を心掛けています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24		1	とても楽しみにしています。いつもありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1		とても満足しています。	これからも利用者様に寄り添った支援ができるよう努めていきたいと思っております。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日 2024年12月1日

事業所名 こぼんはうさくら 若松花野路教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。				
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。				
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。						
32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。					

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			
46		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。				
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。				
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。				
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。				
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				